

2025年12月19日

各 位

埋蔵文化財発掘現場での図面記録時間を90%以上削減 ～「PIX4Dcatch RTK」が作業の省人化に貢献～

当社が提供する“モバイル3D計測ソリューション「PIX4Dcatch RTK」”の導入により、埋蔵文化財発掘現場における記録作業時間を、従来比で90%以上削減した事例を紹介いたします。

本導入により、これまでアナログ作業が主流だった調査工程をデジタル化し、発掘調査現場全体の工期短縮および業務効率化に貢献いたします。

記



1. 事例紹介企業

株式会社東京航業研究所

株式会社東京航業研究所（以下、「東京航業研究所」という。）では、従来の図面記録におい

て、水系・コンベックスによる“人の手による記録”が時間と労力を大きく要している点を課題としていました。

こうした背景から、「手図面をデジタル化し、3D 計測での記録」を重視し、「PIX4Dcatch RTK」を導入いただきました。

2. 「PIX4Dcatch RTK」導入後の効果

- ✧ 記録作業を 90%以上削減（従来比較）
- ✧ 撮影直後に 3D モデルをその場で確認できるため、取り直しや作業遅延のリスクが大幅に軽減
- ✧ 図面作成や計測の負担が減ることで、調査員がより専門的な判断・解析業務に時間を割けるようになった
- ✧ RTK 精度を生かし、簡易調査レベルでも位置合わせ工程を省略。3D での全体把握が可能になり時間・精度ともに向上

【従来 → PIX4Dcatch RTK の比較】（竪穴建物跡：1ピットの記録）		
項目	従来（手計測）	PIX4Dcatch RTK 導入後
記録時間	10～30分	1～2分
作業人数	最低2名	1名で完結
再測の発生	担当者の熟練度に依存し発生	その場で3Dモデルを確認しほぼゼロ
記録精度	個人差・手書き誤差が影響	ケガキ線まで明瞭に記録
現場全体の進行	記録作業がボトルネックになりがち	記録待ちがなく“現場のリズムが向上”



3. 今後の展望

埋蔵文化財発掘という専門性の高いニッチな領域において、「スマートフォン×RTK×モバ

イルフォトグラメトリ」が実務レベルで適用可能であることが本事例により実証されました。

東京航業研究所より、「これらのデータをしっかりと活用できる形にして、埋蔵文化財の記録保存に役立てていきたい。」というコメントをいただいております。

当社は今後も、PIX4D 製品をはじめとした 3D 計測技術の提供を通じて、文化財・インフラ・建設など多様な分野において、「誰もが手軽に扱える 3D 計測」の普及と業務効率化を推進してまいります。

※削減率は東京航業研究所における実測値に基づく参考値です。

【株式会社東京航業研究所について】

埋蔵文化財発掘調査および写真測量を主事業とし、ドローン・地上レーザー・3D スキャナーなどの最新技術を早期から積極的に導入してきた発掘調査会社です。

事業内容：埋蔵文化財発掘調査／埋蔵文化財発掘調査支援／空中・地上写真測量／埋蔵文化財コンサルタント

所在地：埼玉県川越市大字伊佐沼 2 8 番 1

代表者：代表取締役 中本 直士

公式サイト：<https://www.tokyoas.co.jp/index.html>

【株式会社イメージワン会社概要】

所在地：東京都品川区大崎一丁目 6 番 3 号

代表者：代表取締役社長 川倉 歩

事業内容：ヘルスケアソリューション事業、地球環境ソリューション事業

公式サイト：<https://www.imageone.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社イメージワン 特設サイト「Geo4d.biz」お問い合わせフォーム

<https://taylori.com/f/geo4d-bizi-nformation>